

鳥取大学優秀ポートフォリオ賞受賞の感想

学部・学科・学年：地域学部地域学科 4年

氏名：木村海翔

この度、鳥取県に就職することが決まりました。採用試験では、自己紹介書に自身のアピールポイントを記入して提出する必要がありました。そこで、eポートフォリオへの取り組みを通じて培った「内省力」と、昨年度に受賞した「優秀ポートフォリオ賞」についてアピールしました。このことは面接でも取り上げられ、面接官の皆様から高く評価していただいたことで、採用試験の合格につながったと感じています。

正直なところ、eポートフォリオへの記入を面倒に感じることもあります。しかし、就職活動では、自己分析や自己PR、学生時代に力を入れたこと（ガクチカ）を整理し、文章化する機会が必ず訪れます。その際、eポートフォリオは大いに役立ちます。私自身、鳥取市や鳥取県を舞台とした地域活動に取り組み始めたことをきっかけに、これまでの学内外での学修成果を文章として整理、蓄積する目的で、2年次からeポートフォリオへの記入を始めました。また、担当教員からコメントをいただけるため、eポートフォリオは、自身の学修成果を客観的に見つめ直す「鏡」のような存在でもあります。そのため、まだ取り組んでいない学生の皆さんには早めに始めることを、すでに取り組んでいる皆さんには継続して活用することを強くおすすめします。

最後に、私の学内外での学修を支えてくださった皆様、そして、学修成果を評価し優秀ポートフォリオ賞に選んでくださった大学関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

「実るほど頭（こうべ）を垂れる稲穂かな」ということわざがあります。今回の受賞に満足して慢心することなく、実り豊かな稲穂のように謙虚な姿勢を忘れず、これからも学修し続け、さらなる成長を目指して努力してまいります。

学部・学科・学年：医学部生命科学科 3年

氏名：児玉智美

この度は、このような素晴らしい賞をいただき、大変嬉しく思います。

私は、大学生活の中でさまざまな経験を通して、多様なものの見方を身につけたいという思いがあります。将来、病気の治療法を研究するにあたり、多様な視点や経験が研究のアイデアや研究室でのコミュニケーションにつながると考えています。また、さまざまな立場の方々と関わることで、困難を抱える人の思いや悩みに寄り添った研究につながるのではないかと思い、子どもたちとふれあう活動や、手話を通したろう者の方々との交流、音楽など、多くの課外活動に取り組んできました。

e ポートフォリオでは、それらの経験を言葉にして振り返ることで、自分自身の頑張りや成長を改めて実感し、大きな達成感を得ることができました。また、昨年度のポートフォリオを見返すことで、自分の反省や新たな目標を意識しながら日々の活動に取り組むことができています。

この賞を励みに、これからも一つ一つの経験を大切にしながら学びを深め、自分自身の成長につなげていきたいと思います。この度は誠にありがとうございました。

学部・学科・学年： 医学部生命科学科 4年

氏名：高橋真衣

この度は、鳥取大学優秀ポートフォリオ賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。
ます。

私はこの賞を受賞するのは今年で3年目となります。卒業の年に3年連続で受賞することができ、大変嬉しく思っています。

私がeポートフォリオを大切にしてきた理由の一つは、給付型奨学金への応募にあります。私は大学2年生の頃から多くの奨学金に挑戦してきましたが、その際、普段は成績面しかご存じない先生方に、自分の課外活動やこれまでの取り組みを知っていただく手段として、eポートフォリオを活用してきました。そのおかげで、推薦書をお願いする際にも、自分の活動を分かりやすくお伝えでき、非常にスムーズに依頼することができました。また、先生方に自分をより深く知っていただけたことで、日頃のコミュニケーションも取りやすくなり、先生との距離を縮めるきっかけにもなったと感じています。

また、今回一緒に受賞した生命科学科3年生の児玉智美さんの学年に向けて、私は2年前に奨学金応募に関するオンラインセミナーを開催し、その中でeポートフォリオの活用方法を紹介しました。そのときの受講生である児玉さんが今回受賞されたことを、自分のことのように嬉しく思っています。

さらに今年4月には、生命科学科1年生を対象とした大山研修で、eポートフォリオの作成について説明する機会をいただきました。これをきっかけに、eポートフォリオを積極的に活用する後輩が一人でも増えてくれることを願っています。

私自身、今年10月頃から、入学当初から目標としてきた海外大学院への進学に向けた出願が本格的に始まります。海外大学院では、多くの場合、1校につき3通以上の推薦書が必要になります。現在ご指導・共同研究をさせていただいている先生方にも、自分のこれまでの活動や成長を知っていただくために、これからもeポートフォリオを活用していきたいと考えています。

また、eポートフォリオは、志望理由書などを作成する際にも、自分の経験を整理する資料として非常に役立っています。AIを活用して文章を作成する際にも、自分自身の歩みをまとめた情報源として活用することができ、大きな助けになっています。

eポートフォリオは、単に記録を残すためのものではなく、自分自身を伝え、将来につなげるための大切なツールだと感じています。

このような素晴らしい賞をいただき、本当にありがとうございました。

学部・学科・学年： 医学部保健学科検査技術科学専攻 2年

氏名：岡田夏葵

この度は、優秀ポートフォリオ賞を受賞できたことを大変嬉しく思います。eポートフォリオを作成するにあたり、将来の目標だけではなく、語学力の向上や留学生との交流、学内での奉仕活動など、授業外での取り組みについて一つひとつ丁寧に振り返ることができました。

正課の講義や語学学習、ボランティア活動など、学内での学びを文字に起こすことで、何気なく取り組んでいたことの意味や、学びの深まりを客観的に見つめ直すことができました。特に、留学生との交流を通して異なる文化や価値観に触れ、視野が広がったことや、奉仕活動をする中で自分なりの役割を見出せたことは、貴重な経験となりました。さらに、記録として可視化し、整理する過程で自身の強みだけでなく、課題にも気づけたことは大きな収穫だったと感じています。

そして、振り返る中で、日々の挑戦や学びが確実に蓄積されていることを確認でき、今後の成長に向けた大きなモチベーションとなりました。また、目標に向かって継続することの大切さも改めて実感することができました。

今回の受賞を励みとし、今後も専門知識の習得や資格取得、語学学習などに真摯に向き合い、将来の夢の実現に向けてさらなる努力を重ねていきたいです。

学部・学科・学年：農学部生命環境農学科 2 年

氏名：陳 宥孜

改めまして、この度はこのような名誉ある表彰をいただき、誠にありがとうございます。普段の取り組みや学修の振り返りとしてポートフィリオを活用していた分、自身の活動を評価いただけましたこと大変嬉しく思います。

私は農業高校に通っていた頃に「何事においても記録を取る」ことが重要であると学び、気づいたこと・経験したこと等を現在まで書き続けてきました。ですが、記録を通して具体的にどのような能力が高められているのかについて考える機会は多くありませんでした。

その点では、ポートフィリオ「知と実践の融合ファイル」にある DP 能力可視化が役立ちました。こういった活動・経験がこの能力に該当するのか明確に定められ、レーダーチャートで自分の強みと課題を直ぐに把握することができました。見失いかけたときに振り返ることで軌道を修正したり考えを改めたり、迷うことなく目標に向かって進みやすくなりました。さらに、チューター教員に近況を報告する際にもポートフィリオを活用でき、より良い関係性を築くことにも繋がりました。

今後もポートフィリオを活用し記録と振り返りを継続し続け、大学生活をより充実したものにするよう努めてまいります。